

「終の棲家(ついのすまか)」とは、広辞苑によると「終生住んでいるべき処(ところ)」、または「最後に住む処」とある。最後に住む処の意味は、茶人一茶の有名な句に「これがまあ終の棲家か雪五尺」とある。「暮らし方研究会」(大阪市、津島素代表理事)では、会の発足以来、熟年が暮らし住むところを「終生住んでいるべき処」と理解し、助言・提案活動を続けてきた。ここでは設立20周年を迎える提案内容の子細を探ってみよう。



大屋根が印象的な神戸市東灘区の吉村邸の外観

暮らし方研究会は多彩な建築家や匠の技を誇る工務店、最新情報にたけた建築部材メーカーなどを会員とし、セミナーや見学会、無料相談会の開催、住まいづくりの支援活動などを行っている。

活動趣旨は中高年が充実して暮らせる快適な住まいのあるべき姿を探求し、それを広く啓蒙している。

また、1000家族を数える一般会員の要請に応え、サポートした新築、建替え、増改築の企画・設計・建築の監修業務は2500棟を超える実績を持つ。

「今を生きる」
 終の棲家の神髄とは何か
 同会の代表理事である津島素氏は終の棲家の神髄についてこう語る。
 「昨今は東日本大震災に端を発した大規模災害や原発事故など人智が及ばない課題への対応のほか、水や食糧の安定供給と安全性の問題など、世界的に人類存続への不安感が高まり、過去の生活のあり方を改める機運が高まっています。
 やはり、必要な物しか持たなかった暮らしの原点に回帰し、

「今年開催予定の『リ・ライブ』セミナー予定」
 最後に、今年開催される同会の「リ・ライブ」を見直す「リ・ライブ」の予定とテーマのポイントを挙げておくので参加されたいかがたろう。

●6月 第137回「リ・ライブ」セミナー(場所：京都府京田辺市)
 ともに有名な一休和尚建立の願恩庵一休寺を訪問。田邊宗一住職の話と座禅を体験する。

●8月 第138回「リ・ライブ」セミナー(場所：滋賀県東近江市)
 新築見学セミナー。施主のN氏は同研究会の会員になって11年、築50年の住宅を建て替えた。小さくとも上質で住み心地の良い「和風な家」が完成予定。設計は顧問建築家の新井律子氏。

●10月 第139回「リ・ライブ」セミナー(場所：大阪府泉南郡田尻町)
 関西国際空港へ渡るスカイゲートブリッジの付け根に位置する田尻漁港を訪ね、田尻海洋交流センターを見学する。漁船に乗り込み、漁業を体験。新鮮な海鮮パーベキューを楽しむ。

を戦わせた結果、非常に完成度の高いプランの具現化に至ったようである。

津島氏は「中高年の方々には一貫して、暮らしの場は安全で丈夫で長持ち、エゴで手間が掛らず、経年変化にも即応でき、愛着を持って次世代にも住み継げるなど、高い基本性能を確保することの重要性を訴えてきました。さらに、必要にして十分な40坪程度の広さがあれば……」と語る。

加えて、「私は暮らしとことと住まいは同義語だと考えています。だから机上や図面上ではなく、暮らしが営まれている生活の実績が大切なのです」とも。

同会では多数の事例研究を行ってきた結果、行ってきたが、親子二代にわたり著名米国の建築家W・M・ウォリス氏の薫陶を受け、研究会とも長く親交を重ねてきた吉村康雄氏の神戸市東灘区の自邸と暮らしが、建物原型は吉村氏の父が設計・建築したもの

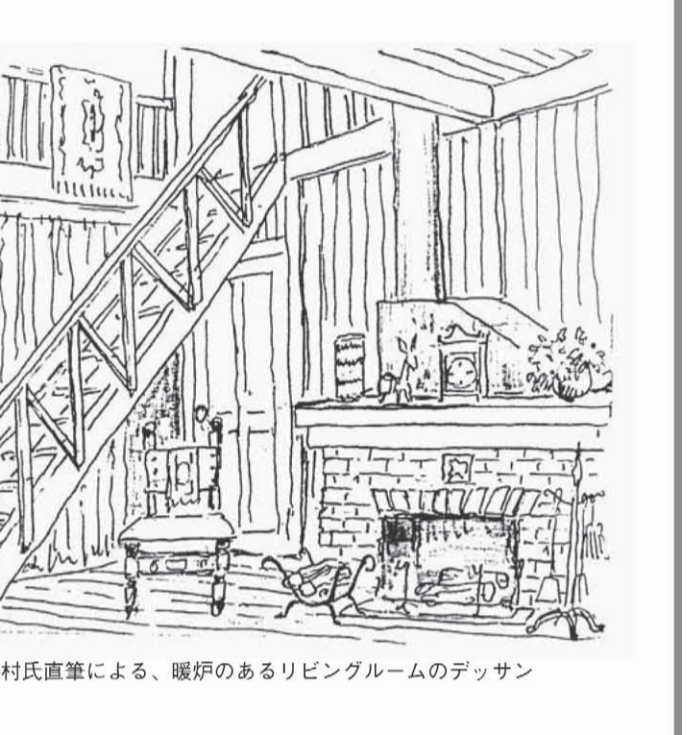
で、同氏も長く暮らし続けていたが、1995年の阪神淡路大震災で被害を被った。吉村氏は間取りをそのままに強度を高め、素材を山小屋風に再設計・再建築し、永眠するまでキラリと輝いて設計活動を続けられてきた。しかも吉村氏の口癖は、「素朴で謙虚、そしてワイルドに、が生活信条です」だったそうである。だからこそ、終の棲家の究極の心と形ではないだろうか。

「暮らし方研究会 設立20周年記念事業」
 今こそ「終の棲家」を考える時では？

暮らし方研究会 設立20周年記念事業
 今こそ「終の棲家」を考える時では？

「暮らし方研究会 設立20周年記念事業」
 今こそ「終の棲家」を考える時では？

中高年層に理想の棲家を提案
 一般会員数1000家族、相談件数2700件



吉村氏直筆による、暖炉のあるリビングルームのデッサン



カフェ&ギャラリー やまぼうし外観
 大阪府豊能郡能勢町森上45-86
 http://www.cafe.zaq.jp/yamaboushi/

暮らし方研究会 設立20周年記念事業

今を暮らす「終の棲家」モデル

特典付きモニターハウス 3棟募集!

暮らし方研究会設立20周年記念として「今を暮らす(終の棲家)モデル」を発表。
 モニターハウスとして、ご協力いただける方を募集します。



カフェ&ギャラリー やまぼうし内観
 外観や内部構造を参考にしてください。

専属の建築家が建物完成までの監修業務を行います

街並みやライフスタイルに合わせた、あなただけの究極の「終の棲家」を目指しましょう。建築家との家づくりは、生涯忘れられない良い思い出になることでしょう。

モニターハウスの規模・価格
 延床面積 / 129.66平米 (39.23坪)
 価格(建築費)(税込) **2,350**万円
*監修料(50万円)が建築費に含まれます。
 *建築確認申請費用、外構工事、屋外給排水工事は別途。

図面・仕様
 図面・仕様等の詳細は、無料初期相談の際にご説明します。

*プライバシーポリシー / 「暮らし方研究会」では個人情報に関する法律を遵守し、個人情報の保護に努めます。ご提供いただいた個人情報は、第三者に開示、提供することはありません。個人情報の取り扱いに関する詳細は、ホームページにてご確認ください。

無料初期相談を受けられた方にプレゼント!

老建築家とカメラマンの人生対話を通じて、自分らしく生きるためのライフスタイルを構築するガイドブックとして、また毎日を精力的に過ごすためのヒントが盛り込まれ、中高年の方々には、大好評をいただいています。暮らし方研究会編

「今、本質のライフスタイルを求めて」
 「やさしさを生きる…」 限定200冊

限定3棟 モニターハウス建築を決定いただいた方にプレゼント!

- 1 デンマーク製照明器具「ポール・ヘニングセン」デザイン PH5(参考価格86,100円) 1台
- 2 ベルギー製薪ストーブ「ドブレ640CB」(参考価格本体336,000円、煙道部一式370,000円) ※但し、工事費は自己負担となります。(別途お見積り) 及び 煙道部一式
- 3 デンマーク製ダイニングセット「ポーエ・モーエンセン」デザイン C18テーブル(140×90×h.71cm) ① J39チェア×4 オークソープ仕上げ(参考価格584,850円) 1セット